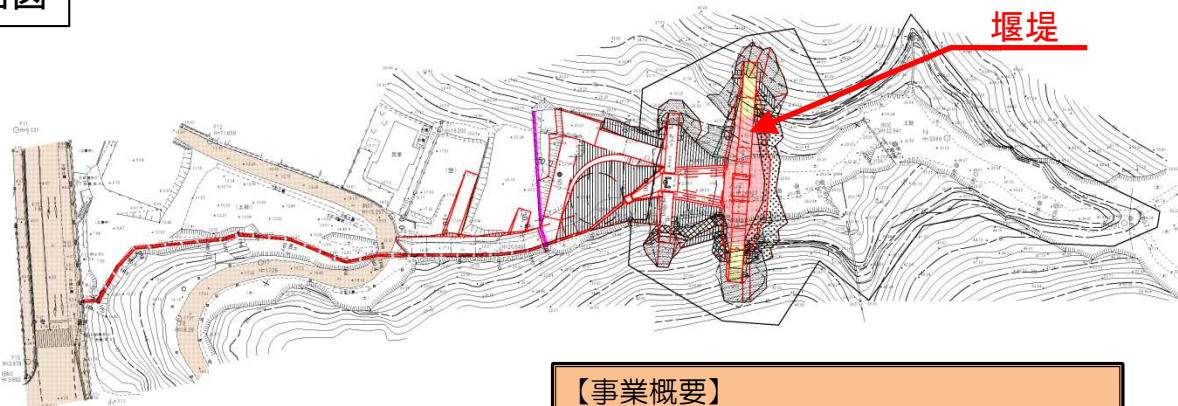


平成30年7月豪雨に伴い、竹原市港町において発生した土砂災害（土石流）に対して、広島県が緊急的に実施している災害関連緊急砂防事業について、所定の高さまで堰堤工事が完了しました。（令和2年3月31日）引き続き、地域の安全度を高めるため、激特事業により砂防堰堤の嵩上げ工事などを実施します。

位置図



平面図



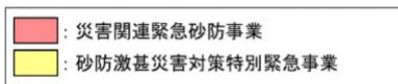
堰堤

【被害状況】

土砂災害発生日：平成30年7月7日
死者：1名
全壊：6戸
半壊：13戸 外

【事業概要】

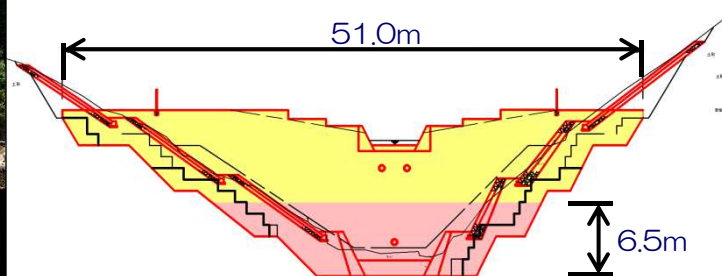
保全対象：人家20戸，道路L=約410m
主な対策：砂防堰堤
高さ11.5m，幅51m
（緊急事業分：高さ6.5m）
採択額：約1.5億円（緊急事業）



被災状況



堰堤一般図



設計：復建調査設計株式会社
施工：保手濱建設株式会社
発注：西部建設事務所東広島支所

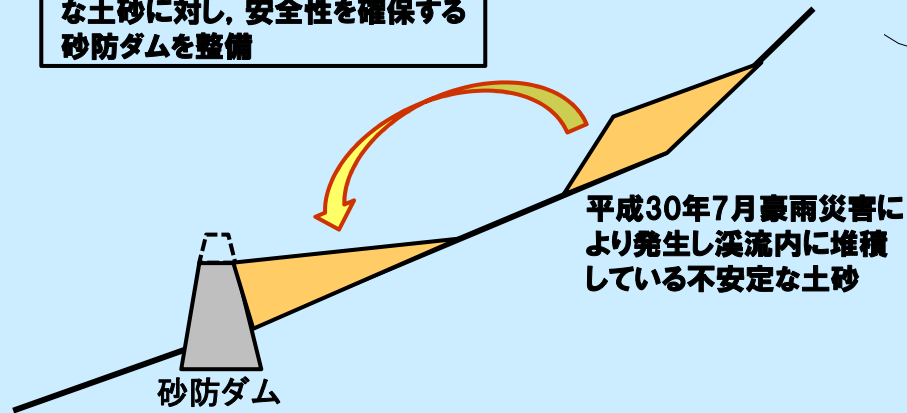
■進捗状況



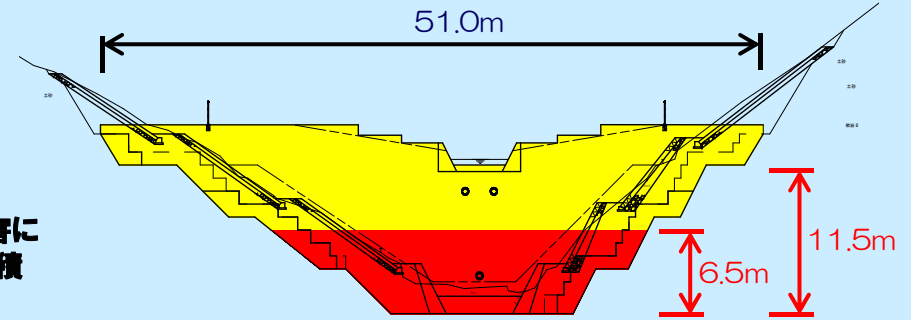
工事完了（令和2年3月31日）

緊急事業

豪雨災害により発生した不安定な土砂に対し、安全性を確保する砂防ダムを整備



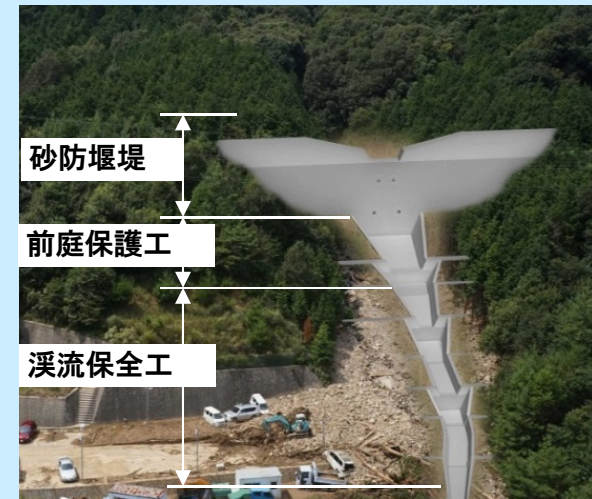
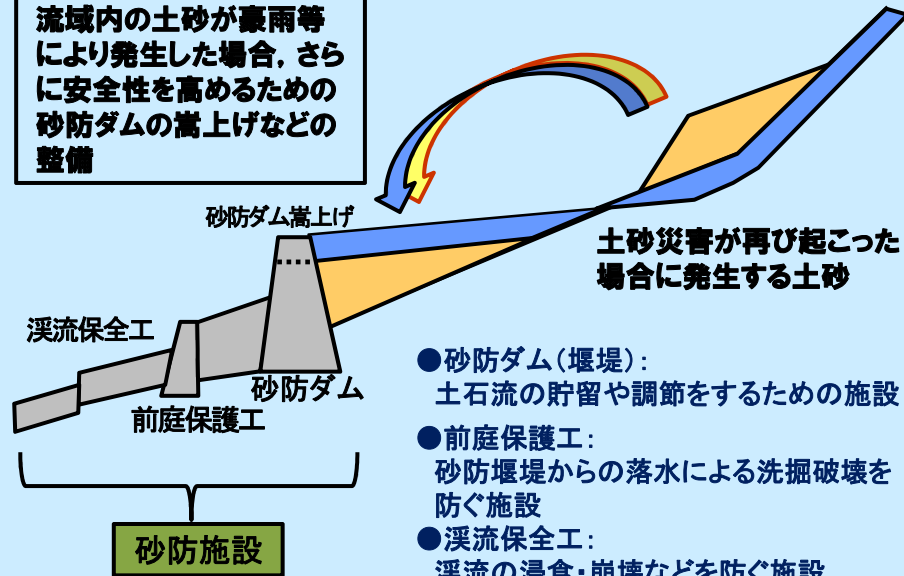
砂防ダム完了高さ



仮屋谷川砂防ダム

引き続き行う 流域の安全性を高めるための 砂防事業

流域内の土砂が豪雨等により発生した場合、さらに安全性を高めるための砂防ダムの嵩上げなどの整備



砂防施設完成イメージ